

CFAアカデミーの考え方

【主たる考え方】

- ①世界に通用する選手育成ができる千葉県独自の発掘、育成、強化のシステムをCFAとJクラブ（柏レイソル、ジェフ千葉）が一緒になって構築する。
- ②千葉県のあらゆる地域及び種別（4種、3種、2種、1種）のCFA登録選手が誰でも才能と将来性があればJリーガー及び日本代表へ進める道を拓く。

＜テーマ＞

- ・千葉県のサッカーに於ける育成の意識、構造改革
- ・グローバルで中長期的な視野に立った選手育成
- ・日本初の発掘、育成、強化システムの千葉県での実施

＜特色＞

- ・個を育てる
- ・埋もれた逸材の発掘、育成
- ・種別、チーム、クラブ、所属連盟を超えた取り組み
- ・共有テーマに基づいたプログラム
- ・共賛（共に賛同）できるチームから始める

＜狙い＞

レイソル、ジェフが3年間同じ環境で指導していた。このプロジェクトにより指導者、選手たちに更なる緊張感及び競争意識を与える。

CFAアカデミー活動内容

Jクラブが2チームある千葉県のメリットを生かし、Jリーグを活用した育成システムを構築していくことを目標にシステムを構築した。今までの8ブロック制を崩さずにスムーズに移行できることをベースに考えた。多くの選手を発掘するには地区トレセンの充実を図ることも大切でブロックの活性化と指導者の交流も目標において活動した。

《目標》

千葉県から世界に通じる選手の育成

《目的》

- ・千葉県全体での選手育成と発掘
- ・個の育成

2012年度の活動

U-13	地区	・地区トレセンの実施 ・2種スタッフによる視察 ・県トレセンと隣接地区との交流戦(9月～1月) ・交流戦(2月)
	県トレ	・ノース、サウスに分かれた活動(6月～12月) ・ノース、サウスを一本化し、バックアップと分けた活動(1月～3月) ・ジェフカーニバルへの参加(8月) ・関東交流戦へのノース、サウス交互の参加(9月～12月)
U-14	地区	・地区トレセンの実施 ・2種スタッフによる視察 ・交流戦(2月)
	県トレ	・関東交流戦への参加(9月～2月)
U-15	地区	・地区交流戦の実施(4月～12月)
	県トレ	・関東交流戦への参加 ・ジェフカーニバルへの参加(8月)
	中体連	・中体連トレセンの立ち上げ ・地区交流戦への参加 ・浜松遠征(8月)、藤枝遠征(12月)
その他		・保険加入 ・ビブス購入

2012年度実施案と実施実績

実施案	実施実績
8ブロックをノース、サウスに分けたトレセン活動	4月、5月は合同でトレーニングを行い、6月からノース、サウスに分かれた活動を実施、1月からノース、サウスを統合。
U-13関東トレセンリーグへのノース、サウス交互の参加	ノース、サウスが交互に参加する事で多くの選手が関東トレセンリーグへの参加を経験ができた。
8ブロックの2種スタッフによる視察	昨年U-13で実施した視察をU-14まで拡大。 2種と3種スタッフの交流が生まれ、高校グラウンドの開放にも繋がった。
8ブロック交流戦(U-13、U-14)の実施	2月25日、26日に実施。 U-13では2種スタッフによる指導を行うなど、新しい試みを実施。 U-14ではゼムノビッチ氏によるスカウティングを実施。
Jクラブとの関わり	ジェフカーニバルへの参加(U-13、U-15)
県トレ選手のJクラブトレーニングへの参加	実施なし。
中体連選抜の立ち上げ	・U-15ブロック交流戦への参加 ・浜松遠征(8月)、藤枝遠征(12月)の実施 ・中体連の選手に経験をさせる機会が増やせた。
用具の支給	U-13、U-14各ブロックにビブス(10枚2セット)を支給
保険加入	各ブロック及び県トレの保険加入を実施。 保険加入状況の確認を行えた。

成果と課題

《成果》

- ・U-13をノース、サウスに分けた活動が浸透してきた。
- ・ブロックと県トレの情報交換が盛んに行われ、選手の入替えも盛んになってきた。
- ・3種と2種の交流が盛んに行われ、高校グラウンドの開放も盛んに行われるようになってきた。
- ・中体連トレセンの実施により、中体連の選手にも経験を積ませることができた。

《今後の課題》

- ・4種と3種の連携（指導者が選手情報を共有できる仕組みを作る）
- ・トレセン会場の確保
- ・U-15交流戦でのモチベーション維持
- ・U-15受験等による参加者不足
- ・中体連トレセンの位置づけ
- ・Jクラブとの連携

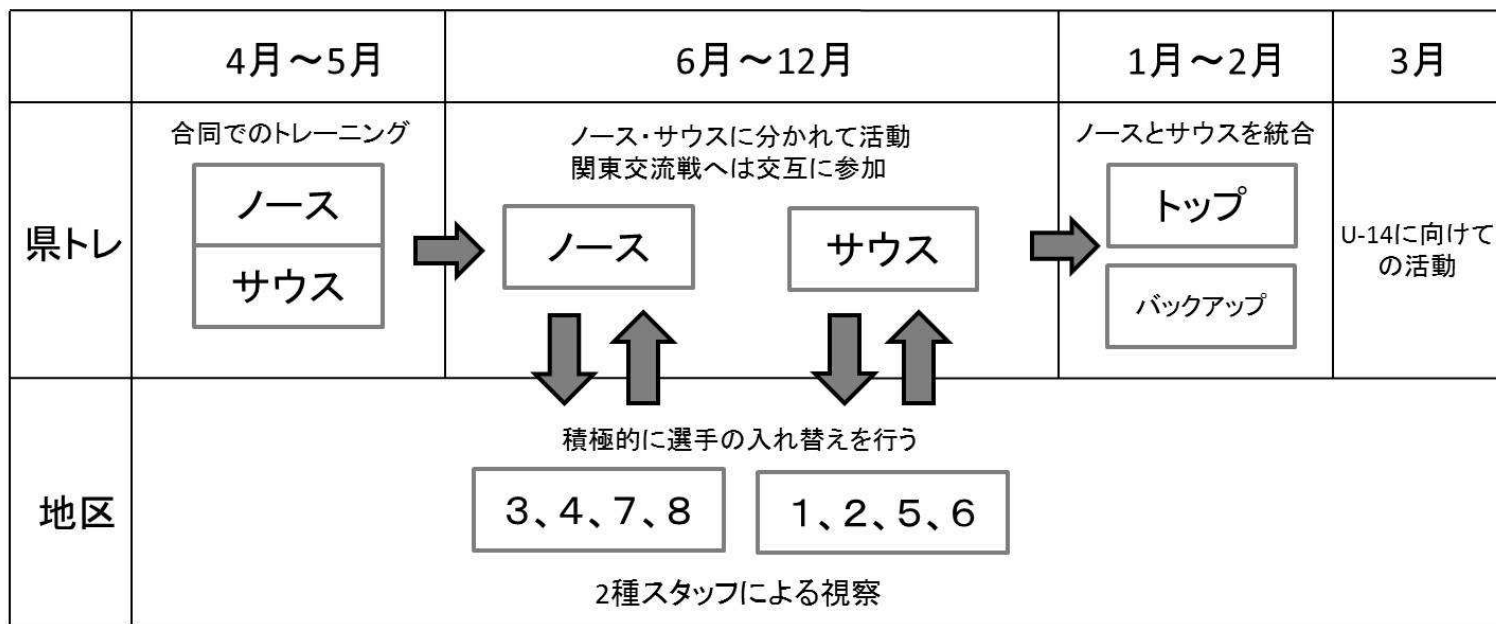
《次年度改善案》

- ・高校を中心として地区トレセンの活動拠点を作る。高校グラウンドの開放をより盛んにする。
- ・指導者育成委員会との協力で、視察及び現場でのサポートを強化
- ・U-15ブロック交流戦開催時期の変更
- ・中体連トレセンの位置づけをトップの下、地区の並びに位置づける
- ・Jクラブへ具体的な協力内容を提案

2013年度活動予定

《U-13》

- U-13 地区 ・8地区による活動
 ・2種スタッフによる視察
 県トレ ・ノース、サウスに分かれた活動
 ・関東交流戦へノース、サウス交互の参加



2013年度活動予定

《U-14》

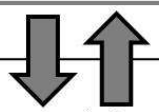
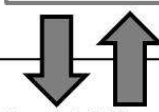
- U-14 地区 ・8地区による活動
 ・2種スタッフによる視察
 県トレ ・トップ及びバックアップの活動
 ・関東交流戦への参加

	4月～2月	3月
県トレ	トップとバックアップの活動 トップ バックアップ  	U-15に向けての活動 トップ トップを20名に絞る ※20名以外は一度 地区トレセンに戻る
地区	積極的に選手の入替えを行う 1～8ブロック 2種スタッフによる視察	

2013年度活動予定

《U-15》

- U-15 地区
- ・前期交流戦の実施(5月～8月)
 - ・後期交流戦の実施(9月～)
 - ・2種スタッフによる視察
- 県トレ
- ・関東交流戦への参加
- 中体連
- ・地区トレセンと並列での活動

	4月～8月	9月～12月	3月
県トレ	トップとバックアップの活動 トップ 20名 バックアップ 10名 	関東交流戦 トップ 20名 バックアップ 10名 	京都遠征
地区	バックアップとの入れ替え(トレーニング & ゲームを実施) ブロック交流戦前期(5月～8月)/後期(9月～11月希望参加) 1～8ブロック、中体連トレセン 2種スタッフによる視察		

CFAアカデミー2013年度全体図

